



2026年5月25日

各位

会社名 三菱ケミカルグループ株式会社
代表者名 代表執行役社長 筑本 学
(コード：4188 東証プライム市場)

[報道関係]
コーポレートコミュニケーション室
TEL. 03-6748-7140

問合せ先 [IR 関係]
IR 室
TEL. 03-6748-7120

石油化学事業の分社化に向けた検討開始に関するお知らせ

当社は、当社の連結子会社である三菱ケミカル株式会社が、次世代の石油化学事業に向けた事業基盤の再設計のため、将来的な他社との統合・再編を見据えた石油化学事業を主体とする基礎化学品事業の分社化に向けた検討を開始したことをお知らせいたします。

記

1. 背景と目的

当社は、2024年11月に発表した「KAITEKI Vision 35」において、社会課題に最適なソリューションを提供し続ける「グリーン・スペシャリティ企業」を目指すことを掲げています。このビジョンを基軸とし、当社は注力事業領域のひとつであるグリーン・ケミカルの安定供給基盤の構築を通じて、化学産業のさらなるグリーン化をグローバルに牽引していくことを目指しております。

一方で、日本国内外における需要構造の変化や、海外、特に東アジアでの競争力低下を背景に、石油化学事業を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しています。こうした中でも、日本の産業と人々の暮らしを支えるためには、基礎化学品の安定供給と更なる高付加価値化を通じて、サプライチェーンを強靱化し、わが国の産業競争力に貢献し続けることが求められています。特に、昨今の中東情勢の影響も踏まえ、基礎化学品の安定した生産と流通により国内のサプライチェーンを支えるため、化学産業が果たすべき役割は一層重要になっていると認識しています。この社会的要請に応えるためには、石油化学事業の技術力・資金力・社会的信頼といった事業基盤そのものを、より強固なものに変革する必要があります。そのためには、業界全体を視野に入れた再編や、他社との統合といった改革が不可欠であると判断し、次世代の事業基盤の再設計に向けた積極的な戦略として、石油化学事業の分社化検討を開始することといたしました。

将来的な統合・再編を見据えたこの分社化検討を通じて、当社は石油化学事業の競争力を一層強化し、国内のサプライチェーンの強靱化、ならびに日本の経済安全保障に貢献し、責任を持ってこれを遂行し続けていく体制の構築を目指します。さらに、この事業基盤に基づき、日本の化学産業の更なるグリーン化を牽引してまいります。

(注) グリーン・ケミカル：自社製品及び顧客製品の環境負荷を低減する基礎化学品、並びにその誘導品

2. 三菱ケミカル株式会社の概要

(1)	名 称	三菱ケミカル株式会社
-----	-----	------------

(2) 所在地	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 筑本 学 代表取締役 下平 靖雄 代表取締役 櫻井 和光
(4) 事業内容	機能商品、素材他
(5) 資本金	532億29百万円

3. 分社化の概要

(1) 分社化後の新会社が目指す姿

統合・再編を通じて事業の競争力を高め、日本を代表する石油化学企業として化学産業の構造転換とグリーン化を牽引してまいります。また、産業基盤である基礎化学品の安定的かつ持続的な供給により、国内サプライチェーンを支え、日本の経済安全保障に貢献することを目指します。

(2) 分社化検討の対象領域

当社のベーシックマテリアルズに属する基礎化学品事業を中心に検討を進めてまいります。ただし、今後の検討を通じて対象が変わる可能性があります。

4. 今後の見通し

2027年度中の分社化実行に向けて詳細を検討してまいります。

以上